

## 【科目名】 思考と表現 【1単位】 【30時間】 【1年生】

### 【科目目標・概要】

#### 〈科目目標〉

思考とは、自ら考えることです。表現とは、相手に伝えることです。したがって、自分の考えたことを、相手に的確に伝えられようにすることがこの科目の目標です。

#### 〈概要〉

思考は、なんとなく思うことではありません。なぜそう考えるのか、すなわち、論理的に考えることです。論理的とは、考えの根拠を示せることです。また、思考は対話により深められます。対話には自分の考えを的確に相手に伝えることが必要です。そこで求められるのが、表現力です。

以下の演習を通して、思考力と表現力のトレーニングを、楽しく行っていきます。

- 1 論理的文章を理解し、内容を的確に要約する方法を身につける。
- 2 説明的文章を通して、レポート等をまとめる手順を身につける。
- 3 対話や議論において、聞く力と説得力のある話し方を身につける。
- 4 さまざまなメディアを通して、人の心情をくみ取る力を醸成する。
- 5 自らの内部にある思いを的確に伝える表現力を磨く。

### 【授業計画】

回	学習内容
1	詩のボクシングの勝敗を決める。
2	文章要約力を付ける。
3・4	物語の展開を予測する。
5・6	「友だちのうちはどこ」(根拠を持って考える)
7・8	プレゼンテーション力を身につける。
9・10	「葉っぱのフレディ」(自分の考えを述べる)
11・12	「セロ弾きのゴーシュ」から学ぶ。
13・14	マッピングを使ってレポートを書く。
15	まとめ

### 【テキスト・参考書】

随時資料を配付する。

**【科目名】 倫理学 【1 単位】 【30 時間】 【3年生】****【科目目標・概要】**

人間だれもが善きものになりたいと考え、日々の行為を行っています。この人間的行為について考える学問が倫理学です。本講義では、具体的事例から倫理的な問題を、皆さんとともに深くかつ主体的に考え、＜善く生きる＞ことの意味を根本から考えていきます。あわせて、生命倫理・看護倫理の諸問題にも触れていく予定です。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	ガイダンス, 社会問題を考える
2	正しいことを行うとは
3	最大幸福原理(功利主義)
4	私のものは私のものか(自由尊重主義)
5	雇われ助っ人(市場と道徳)
6	重要なのは動機(カントの義務論)
7	平等の擁護(ロールズのリベラリズム)
8	積極的差別是正策をめぐる論争(ドウウォーキン)
9	誰が何に値するか?(アリストテレスの目的論)
10	たがいに負うものは何か(忠誠のジレンマ)
11	正義と共同善
12	看護職の倫理綱領, ICN/ICM 倫理綱領
13	IC と倫理, 死と誕生をめぐる倫理
14	まとめ講義
15	試験

**【テキスト・指定図書】**

宮坂道夫他: 系統看護学講座 別巻 看護倫理、医学書院

## 【科目名】 情報リテラシー 【1単位】 【30時間】 【1年生】

### 【科目目標・概要】

- 1 コンピュータやスマートフォンを楽しく安全に使うための基本的な考え方を学び、身につける。
- 2 身の回りにある膨大な情報から必要な情報を探し出し、適切に利用・管理する方法を学ぶ。
- 3 グループでの課題設定、調査、レポート作成、発表、という一連のワークショップを通じて、学生生活で情報機器を活用する方法を身につける。

### 【授業計画】

回	学習内容
1	パソコンの基本操作 コンピュータの起動・終了、マウスの使い方、およびキーボードを使った文字入力を実習する。
2	コンピュータの基礎知識 コンピュータの種類と構成要素を概観し、データ保存時に必要となるファイルシステムを理解する。
3	インターネットの利用 Web ブラウザの使い方、メールの利用、およびクラウドサービスの便利な使い方を概観する。
4	情報とセキュリティ パソコンおよびスマートフォンを利用する際に最低限注意すべきことについて理解する。
5	情報と法律 情報に関する主な法律について学ぶ。
6	既存の情報の収集方法 文献検索およびインターネット上で役立つ情報へのアクセス方法について学び、実習する。
7	調査によるデータ収集 効果的なアンケートの作成する手順を学ぶと共に、便利なツールとしての Web Form を概観する。
8	表計算 Excel の基本操作を実習する。
9	文章作成 Word の基本操作を実習する。
10	文字情報の整理 レポートを作成するための情報のまとめ方を学ぶ。
11	電子スライド PowerPoint の基本操作を実習する。
12	グループ発表の準備(1) グループで調査テーマを決定し、詳しい調査方法をデザインする。計画に合わせて調査を実施し、情報を収集する。
13	グループ発表の準備(2) 集めた情報を整理し、発表資料を作成する。
14・15	グループ発表

### 【テキスト・参考書】

系統看護学講座 別巻 看護情報学、医学書院  
奥村晴彦・森本尚之: 基礎からわかる 情報リテラシー、技術評論社

## 【科目名】 統計学 【1単位】 【15時間】 【2年生】

### 【科目目標・概要】

医療・保健分野における調査や研究で示されるデータを解釈するために必要な統計学の基礎を身につける。統計学を学ぶ必要性について理解し、統計における代表値、標本を用いた母集団の推定の方法を学ぶ。また基本的な仮説検定の流れを理解し、表計算ソフトを用いた実際のデータ分析を体験し、検定結果の解釈を理解することを目指す。

### 【授業計画】

回	学習内容
1	看護と統計： 科学的思考と統計を学ぶ意味(ナイチンゲール、センメルヴェイスを例に)
2	代表値： 平均とばらつき
3	母集団と標本： 標本を用いた母集団の推測
4	区間推定： 信頼区間、t分布
5	仮説検定の考え方： 帰無仮説と有意水準
6	カイ二乗検定
7	t検定： 正規分布を前提とした検定
8	定期試験

### 【テキスト・参考書】

向後千春、富永敦子:統計学がわかる-ハンバーガーショップでむりなく学ぶやさしく楽しい統計学、技術評論社  
高木晴良:系統看護学講座 基礎分野 統計学、医学書院

## 【科目名】 英語 【1単位】 【30時間】 【1年生】

### 【科目目標・概要】

社会の国際化に伴い、日本においても多くの外国人を見かけるようになりました。病院においても同様です。ただでさえ、どの患者も不安を抱えている中、言葉の壁があればなおさらです。そんな不安を少しでも取り除くため、共通言語となっている英語を用いて、患者とコミュニケーションを取れるよう実際に現場で使える英語を学んでいきます。

授業では、医療現場で想定される会話を聞き、練習をします。また、医療に関する記事を読み、理解を深めます。その際に必要な医療に関する表現も学びます。中には難しい単語もありますが、声に出したり書いたりして、少しずつ覚えていってください。

### 【授業計画】

回	学習内容
1	オリエンテーションと自己紹介
2	新聞の記事を読む(前半)
3	新聞の記事を読む(後半)
4	UNIT 2 患者さんを励ます
5	UNIT 3 病院で受付をする
6	UNIT 4 気分を尋ねる
7	UNIT 5 問診票に記入する
8	UNIT 6 行き先を案内する
9	中間テスト
10	UNIT 7 症状を尋ねる
11	UNIT 8 痛みの場所を尋ねる
12	UNIT 9 症状の持続時間を尋ねる
13	UNIT 10 検査の手順を説明する
14	UNIT 13 薬の説明をする
15	期末テスト

### 【テキスト・参考書】

Lifesaver / センテージラーニング出版

**【科目名】 アートと書 【1単位】 【15時間】 【1年生】****【科目目標・概要】**

豊かな感性や想像力を育むことは、あらゆる創造の源泉となるものであります。文化芸術は、創造性を育み、その表現力を高めるとともに、心のつながりや相互理解、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成します。表現や鑑賞の活動を通して、豊かな感性と創造性を育みます。

また、作品作成等により、満足感や達成感を得、心身のリフレッシュにもつなげることを目指します。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	オリエンテーション 祝儀袋や封筒などの名前書き作成
2	作品作成・鑑賞
3	作品作成・鑑賞
4	作品作成・鑑賞
5	作品作成・鑑賞
6	作品作成・鑑賞
7	作品作成・鑑賞
8	作品作成・鑑賞

**【テキスト・参考書】**

なし

## 【科目名】 健康と運動 【1単位】 【30時間】 【3年生】

### 【科目目標・概要】

バレーボールは球技の中でも、最もポピュラーなスポーツとして国民に親しまれています。また、体育の教材として中学・高校のカリキュラムに入っており、日本人なら必ず経験していることとなります。この両種目は老若男女だれでも気軽に楽しむことのできるスポーツなので、授業にも適していると思われます。

それはレクリエーション的にも競技的にも楽しむことができるという点でも優れたスポーツ種目であることが認識されます。授業では基本的な技術を会得したのち、ゲームを中心に進めていくことにする。

- 1 運動・スポーツの合理的な実践を通して、心身の調和のとれた発達と運動技能の習得をはかる。
- 2 運動・スポーツを通してその楽しさや有意義さを体験し、自主的に運動する習慣を身につける。
- 3 運動・スポーツにおける競争や協同の経験を通して、フェア・プレーの精神を身につける。

太極拳は、ゆっくりとした動作をおこなう全身運動という特性が健康とのつながりを深め、親しまれるようになりまし。生涯スポーツや健康づくりのための運動としても広く実施されてきており、気分転換やリラクゼーション等心身の健康保持・増進のためにも、実技を体感し、今後の生活に取り入れていけるようにする。

目的 看護師育成授業の一環として

- 1 平均寿命より短い健康寿命の延長を希求する患者に寄り添える知識を育む。健康寿命阻害要因のひとつが転倒による骨折であり、骨粗しょう症に大きく起因するロコモティブシンドロームの改善。
- 2 怪我・手術からのリハビリ計画、及び退院後のケアへの助言。  
アスリートのフロー状態でも重要視される心技体のバランスを整えるのが困難な治療期間に寄り添う。
- 3 骨の強度を保つ性ホルモン減少前に、運動習慣を身に着ける重要性を理解する。

### 【授業計画】

回	学習内容
1	バレーボール
2	パスとレシーブ、実技テストの紹介
3	オーバーハンドパス、サーブ
4	アンダーハンドパス、サーブ
5	サーブ・レシーブ
6	つなぐことを意識したゲーム
7	チームを意識したゲーム
8	リーグ戦形式のゲーム
9	ゲーム、実技試験
10	太極拳
11	①太極拳によるゆっくりとした動作で、高血圧低下への効果等が認められている有酸素運動を行う。
12	②体験する機会が少なかった太極拳の動き方を学ぶことで、身体と共に、脳を活性化させる。
13	
14	
15	

### 【テキスト・指定図書】

なし

## 【科目名】 異文化コミュニケーション 【1単位】 【30 時間】 【1年生】

### 【科目目標・概要】

異文化コミュニケーションとは「人や文化の違いを乗り越えてコミュニケーションすること」である。自分と異なる人や文化と出会い、かかわることは、ときに私たちのなかの当たり前を揺るがし、自分が何者であるかを問い直させる。さらには互いの文化を変容させ、あらたな文化を生じさせることもある。

この異文化コミュニケーションについて、本講座は、異文化との対話を通して文化の多様性と普遍性を追求する文化人類学の知見や、日本や世界の文化的・社会的事例をあつかいながら学ぶ。

### 【授業計画】

回	学習内容
1	文化とは
2	文化について知る 1 生活
3	文化について知る 2 価値観
4	異文化とは
5	異文化とであう1 カルチャーショック・異文化適応
6	異文化とであう2 ケーススタディ・ディベート
7	身近な異文化・身近な他者（在日コリアン、沖縄）
8～10	リトルワールド見学
11	偏見（障がい者、高齢者）
12	他者の多様性（LGBTQ+）
13	異文化との共生にむけて 1 ケーススタディ
14	異文化との共生にむけて 2 ディベート
15	まとめ・試験

### 【テキスト・指定図書】

なし



**【科目名】 人間形成と教育 【1単位】 【30時間】 【1年生】****【科目目標・概要】**

教育は学校のなかだけではなく、あらゆる場所であらゆる関係において存在する。この授業では、教育の原理を理解すると同時に、現代の教育現場における問題にも注目する。みなさんが主体的にものごとを捉えられるようになり、加えてものごとを仲間に伝えられるコミュニケーション能力の向上を目指す。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	教育とはなにかー「教育」の概念
2	教育の対象ー子ども観と発達
3	教育の組織化ー学校
4	教授ー人を教えるということ
5	養護ー教育の受け手を見まもる
6	教育の担い手ー専門性と専門職性
7	発達ー教育を受けて成長する
8	教育の目標と評価
9	教育のメディアー教育をデザインする
10	特別ニーズ教育・インクルーシヴ教育
11	ジェンダーとセクシュアリティ
12	カウンセリングマインド
13	キャリア教育(専門教育)
14	生涯学習とシティズンシップ教育
15	まとめと試験

**【テキスト・指定図書】**

木村元他: 系統看護学講座 基礎分野 教育学、医学書院

**【科目名】 生涯発達論 【1単位】 【30時間】 【1年生】**

**【科目目標・概要】**

人を理解するうえで重要である生涯発達理論を学び、ライフサイクルにおけるそれぞれの発達段階で直面する発達課題を中心に理解を深め、患者をより深く理解し心の問題を考える視点を修得する。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	発達と生涯発達理論について
2	胎児～乳児期の発達
3	幼児期前期の発達
4	幼児期後期の発達
5	学童期前期の発達
6	学童期後期の発達と発達障害
7	思春期の発達
8	体験の振り返りを通し自己を知るワーク
9	青年期の発達
10	成人期の発達
11	老年期の発達
12	発達検査・心理検査の概要とその活用
13	キャリアの発達
14	患者の人生に寄り添う看護とは
15	試験

**【テキスト・参考書】**

舟島 なをみ, 望月美知代:看護のための人間発達学、医学書院

## 【科目名】 人間関係論 【1 単位】 【30 時間】 【1 年生】

### 【科目目標・概要】

心の理解につながる基礎心理学と、人間関係を理解するための知識理論を学び、ワークを通し自己についての気づきと、他者に対する理解力を深める。

医療現場での患者、チーム内の人間関係を円滑に行なうために必要とされるコミュニケーションスキルを習得する。

### 【授業計画】

回	学習内容
1	患者の心理を理解するための基礎心理学1
2	患者の心理を理解するための基礎心理学2
3	自己を知る・関わり方の体験
4	自己を知る
5	コンセンサスエクササイズ
6	傾聴エクササイズ
7	患者の心理を理解するための基礎心理学3
8	自己概念と他者認知
9	コミュニケーションの概念と理論
10	アサーティブコミュニケーション
11	職場における人間関係
12	ストレスマネジメント
13	患者の心理と看護師と患者の人間関係
14	看護職のキャリア
15	試験

### 【テキスト・指定図書】

山村 豊他: 系統看護学講座 基礎分野、心理学、医学書院

石川 ひろの他: 系統看護学講座 基礎分野、人間関係論、医学書院

**【科目名】 カウンセリング論 【1 単位】 【15 時間】 【1 年生】**

**【科目目標・概要】**

心理療法とカウンセリングについての理論と技法を学び、事例を通し実際に検討を行うことで、臨床現場で生かせる看護カウンセリングの基礎を修得し、患者の心理についての理解を深め、患者の心を援助する実践力を養う。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	看護におけるカウンセリング
2	心理療法の基礎理論と実際
3	カウンセリング技法の理解
4	カウンセリング技法の演習
5	事例から学ぶ看護カウンセリング
6	事例検討
7	患者の話を聴くということ
8	試験

**【テキスト・指定図書】**

山村 豊他: 系統看護学講座 基礎分野 心理学、医学書院

石川 ひろの他: 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論、医学書院

**【科目名】 社会学 【1単位】 【30時間】 【1年生】****【科目目標・概要】**

ひとりの個人としてのわたしたちが集まってつくる社会と、社会というもののなかで生きるわたしたち個人のかかわりを見ていく学問が社会学です。わたしたちが生活している社会がどのように成り立ち、どのような問題を抱えているのかについて幅広い視点に立って社会をみていく力をこの科目では養います。そのことを通じて、人を見ていくこと／看っていくことにつなげることができたらと考えています。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	社会学とは
2	日常生活と相互行為
3	社会生活と個人
4	社会生活と社会集団
5	社会変動とは
6	健康と病の社会学
7	家族ストレス対処理論と家族危機
8	社会学からみた自殺
9	ジェンダーとは
10	セクシュアリティとは
11	働くことと働き方
12	教育格差と社会問題
13	子どもの貧困(離婚とひとり親家庭家庭)
14	親密圏の社会問題(ドメスティックバイオレンス・虐待)
15	試験

**【テキスト・参考書】**

石川ひろの他: 系統看護学、講座 基礎分野 社会学、医学書院

## 【科目名】 家族論 【1 単位】 【15 時間】 【1 年生】

### 【科目目標・概要】

この授業では、家族を社会学的な視点から学ぶことで相対化して捉えなおし、自ら「家族」について考える力を養うことを目的とします。家族を取り巻く社会環境の変化とともに、家族のあり方や家族に対する考え方も変容してきました。

今までの家族についての認識や家族像を確認した上で、現代の家族が抱える課題や現在から未来についての家族像を考えてゆきたいと思います。

### 【授業計画】

回	学習内容
1	家族とは？オリエンテーション
2	家族構造
3	家族機能
4	現代家族の様相(1) 結婚・夫婦関係
5	現代家族の様相(2) 親子関係・老親との関係
6	現代家族の諸問題とその課題(1)
7	現代家族の諸問題とその課題(2)
8	試験

### 【テキスト・指定図書】

上別府圭子他: 系統看護学講座 別巻 家族看護学、医学書院